

令和3年1月15日

保護者の皆様

郡山市立小原田中学校長 熊坂 洋

「令和2年度『学校評価アンケート』」集計結果の報告について

大寒の候、保護者の皆様には、本校教育に対しましてご理解ご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、「学校評価アンケート」へのご協力誠にありがとうございました。アンケートの回答率は84%でした。高い回答率から、多くの保護者の方々が、本校教育に期待と関心をもたれている現れだと感じています。

また、いただいた保護者のご意見を真摯に受け止め、課題を見出し、改善を図ってまいります。保護者の方々のご協力をお願い申し上げます。

つきましては、下記にアンケート集計結果の概要についてまとめましたので、ご覧下さい。

記

集計結果（よくあてはまる・ややあてはまるの合計 数字は%）

番号	質 問 事 項	合計
1	生徒は、楽しく学校に通っている	94
2	生徒は、学校の授業や学習がわかりやすいと言っている	80
3	学校は、夢や希望をもち自己の生き方を考える生徒を育てようとしている	86
4	先生方は、生徒をよく理解し最善を尽くしている	93
5	学校は、教育の目標や方針をわかりやすく保護者に伝えている	90
6	学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている	91
7	学校や学年からの便りや文書は、適切でわかりやすい	97
8	学校のホームページは見やすく、内容が適切でわかりやすい	93
9	学校からの緊急連絡・安心安全のための情報発信は適切である	96
10	学校の施設設備は生徒が学習や活動しやすいように整備されている	91

1 集計結果からの考察

（1）生徒が楽しく安心して通う学校づくり

「楽しく学校に通っている」では、「よくあてはまる」「やや当てはまる」を合わせると「94%」の方が肯定的な回答をしています。

この回答には大変安心させられます。また各学年ともに90%を超えています。しかし、少数ではあるものの「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の回答が「6%」もいることに、我々は目を向け、更なる努力をしていかなければならないと考えています。

今後も教育相談等の機会を捉え、生徒の不安や心配の芽が小さいうちに、学校と保護者・関係機関等（SC、SSW、教育委員会、児童相談所）との連携を密にして、安全安心な学校づくりに努めてまいります。

（※教員の言葉遣いに関するご意見をいただきました。言葉は時として相手を傷つけてしまうことがあります。我々教員も人権意識をもち、同じ人間として生徒に向き合っていきたいと思います。）

（2）保護者や地域との連携を図った「開かれた学校」づくり

「教育の目標をわかりやすく保護者に伝えている」「家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている」「ホームページは見やすく、内容が適切でわかりやすい」「緊急連絡・安心安全のため

の情報発信は適切である」については、どの学年も肯定的な意見が9割以上でした。各学年の「学年通信」や「ホームページ（HP）」、個別の電話連絡など学校の情報の発信が、結果的に機能しているものと思います。引き続き様々な機会をとらえて保護者、地域の方々と、情報の共有化に努めてまいります。

（※「HP」や「マチコミメール」をさらに活用してほしいという意見がありました。個人情報の観点もありますが、できるだけ多くの情報を発信してまいります。また、アプリの利用や緊急連絡の仕方についてご意見をいただきました。今後検討してまいります。）

（３）生徒が輝く学校づくり

「先生方は生徒をよく理解し最善を尽くしている」「学校や学年からの便りや文書は適切でわかりやすい」「施設設備は生徒が学習や活動しやすいように整備されている」については、どの学年も肯定的な回答が9割以上です。教員が生徒理解に努め、生徒一人一人に合った指導法を工夫して学校だよりや学年だよりなど生徒への賞賛の場をきちんと作られているものと感じとれます。また、パソコンやタブレットなどICT環境の整備も進められていることもあげられると考えられます。

（※部活動の活動時間や指導法についてご意見をいただきました。活動時間につきましては、郡山市から出されております指針に基づき実施すること、指導法につきましては、研修を深め共通理解を図ることを全職員で確認したいと考えております。また、テニスコートについて複数ご意見をいただきました。テニスコート周辺の環境整備につきましては、今後市教委に改善の依頼をしております。）

（４）学力の向上を目指す学校づくり

「生徒は、学校の授業や学習がわかりやすいと言っている」については80%の肯定的な回答をいただきました。高い割合ではありますが、更なる努力が必要であると感じます。本校では「どの子にも学びが成立する授業」を目指し、生徒同士の「学び合い」を大切にした授業づくりに努めています。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響でペア学習やグループでの話し合い活動に制限がありましたが、教員の教材教具の開発・視聴覚機器の活用・学習形態の工夫により、生徒が意欲的に学習に取り組む姿が多くなりました。

「学校は、夢や希望をもち自己の生き方を考える生徒を育てようとしている」が、86%と肯定的な回答をいただきました。職業講話や上級学校調べなど各学年で計画的に実施しておりますが、今後さらに発展させキャリア教育の視点を生かした教育活動の充実に努めてまいります。

また、キャリア教育の充実のためには保護者の皆様や地域の皆様と連携協働することが大切であると考えております。

２ おわりに

今回の「学校評価アンケート」では、どの質問項目にも好評価をいただいております。改めて、本校の教育活動に対し、日頃よりご理解とご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

アンケートの自由記述の中で「今年度はコロナのため学校と保護者が関わり合う機会が少なく正直どう回答すべきかわからない設問がありました」とのご意見をいただきました。子供たちを正しく導いていくためには教職員と保護者が同じ方向を向き手を携えていくことが大切です。コロナ禍の中で今後どう実践していくか大きな課題であると感じております。来年度は、通常の教育活動が展開できるのか、また今年度のように制限をかけながらできる限りの教育活動をしていくのか、現在はまだ見通せない状況ではありますが、全職員あげて「魅力ある学校づくり」に努めてまいりたいと考えております。

今後とも、更なるご理解、ご協力、ご支援をお願いいたします。

なお、質問項目11番で自由記述でいただきましたご意見ですが、各学年、各係などで改善工夫できるよう現在検討中ですのでよろしくお願いいたします。

ご協力ありがとうございました。